



創業期から
業登録まで

2020年11月

会社概要

創業の経緯

- 機関投資家向けの資産運用に携わりつつも、国内の個人投資家の置かれた状況（自分が利用したい、家族や友人に勧めたいと思える投資商品が少ない）を何とかしたいと思い、創業を決意。
- ゴールドマン・サックスの運用担当者2人と、DeNA/楽天のエンジニア2人、計4人が集い創業。
- 創業者全員が理系の大学院を修了し、エンジニアバックグラウンドを持つ。「無いものは自分で作る」。

2020年10月現在

| 会社名 | 株式会社sustenキャピタル・マネジメント |
|---------------|---|
| 設立 | 2019年7月 |
| 代表 | 岡野 大、山口 雅史 |
| 自己資本 | 約4億500万円 |
| 役職員数 | 13人 |
| 登録業 | 第一種金商業、第二種金商業、投資運用業 |
| サービスの特徴 | インターネットを通じて、一般投資家向けの資産運用サービスを提供。 国内で初めて、プロフィットシェア型（完全成果報酬型）の費用体系を導入し、一般投資家の金融サービスへの心理的ハードルを引き下げ、資産運用者の拡大を狙う。 |
| 所在地 および連絡先 | 中央区日本橋兜町8-1 FinGATE TERRACE 6F info@susten.jp |



代表者紹介



岡野 大（代表取締役CEO）

2012年ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント入社。2014年から2019年まで戦略株式運用部にて機関投資家向け運用の投資判断者として従事。数百億円規模のポートフォリオの株式、デリバティブ、為替等を運用した。ジャッジメンタルベースでの投資判断を行いつつ、ファンドの計量ヘッジングモデルも開発。在籍中のシャープレシオは1.3以上。東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻（修士）。

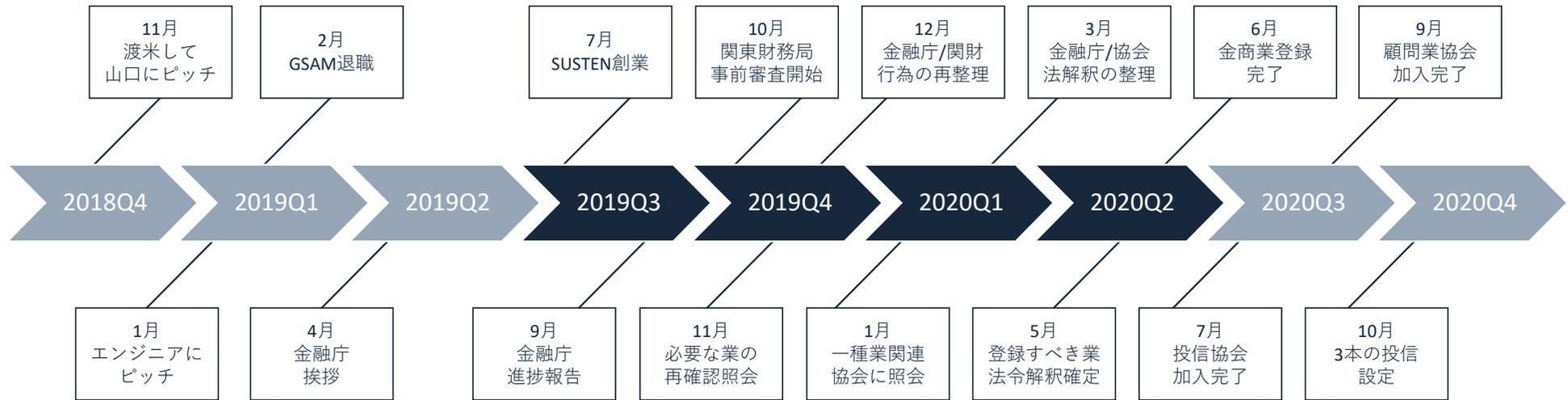


山口 雅史（代表取締役CIO）

2007年ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント入社。運用投資戦略部にてポートフォリオ・マネージャーを務め、法人顧客の資産管理に従事。2012年にGoldman Sachs(在NY)へ移籍後は、2019年まで北米機関投資家約15兆円の資産配分、タクティカル・アセット・アロケーションの計量運用責任者を歴任。京都大学大学院情報学研究科卒(修士)。日本証券アナリスト協会検定会員。



SUSTENの創業期から業登録まで



時間がかかったこと

- 前例にないことをやろうとすると、時間がかかります。

SUSTENの目指す形

一般個人投資家向けに、**投資効率の高い運用商品**を**完全成果報酬型**の料金設定で提供したい。



- 投資家ひとりひとりの成果に応じた報酬体系とするには、個人と投資一任契約を結ぶ必要がある。
- 一般個人向けに投資効率の高い運用を提供するには、セパレートアカウントではなくファンド形式をとる必要がある。



関係各所と金商法解釈の整理を行い、「**一種業・二種業・投資運用業**」のすべてに登録。

当局の最初の反応

運用会社が口座開設機関となり、投資一任契約を締結した上で、自社設定投信を組み入れることは前例にない。法的解釈の整理が必要。



- 従来どおりの、投信直販では駄目か？
⇒**ファンド直販では、投資家ひとりひとりの成果を計算できないので不可。**
- 外部の証券会社に口座管理機関になってもらうのでは駄目か？
⇒**投資家の負うコストが倍になるので不可。**

上記はあくまでも当社が経験した事例であり、個社の事情により、異なる場合があります。



苦勞したこと

- 前職で当たり前前にできたことが、当たり前ではなくなります。

銀行の法人口座が 開設できない

KYCのルールの厳格化により、金融業を営む業者は業登録が完了していることを求められる銀行が多いです。一方で、金商業登録する際にメインバンクを記載することも求められます。

証券口座が開設できない

ヘッジファンドのPrime Brokerageではない形で、先物口座を開設しようとするとかなり審査に時間がかかります。また当然、前職のようなコミッションテーブルは出してくれません。

税務、その他登録関係にも 時間がかかる

税務やコンプライアンス関連で、さまざまな登録が必要になります。外国籍ファンドや、外国証券の取引をする際には、その登録の種類も増えるため、時間と労力がかかります。

上記はあくまでも当社が経験した事例であり、個社の事情により、異なる場合があります。

これから業登録をされる方へ

- 難しいことはあっても、（法的要件を満たせる限り）不可能なことはないので、できることからコツコツ進めていくことをお勧めします。
- 当局の担当官は、運用会社にとって最初の「投資家」として考えましょう。投資運用の登録業者が400社※近く存在する中で、なぜ自分の会社に投資すべきかをお伝えできると良いと思います。
- ご自身でできることは、ご自身でされることをお勧めします。特に、社内規程や申請書類等は、ご自身の言葉で書かれた方が、最終的に審査がスムーズになる印象があります。
- 監督指針にはたくさんのヒントがあります。共通部分をしっかり把握することで、業登録に向けてやるべきことが見えてくるとと思います。



巻末開示情報

- 本資料は、株式会社sustenキャピタル・マネジメント（以下「弊社」といいます。）が情報提供を行うことのみを目的としております。本資料は投資商品の勧誘資料ではありません。
- 本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載された内容は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。
- **守秘義務**
- 本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)受領者に所属する役職員あるいは受領者の委任を受けた代理人以外の第三者に再配布することを禁じます。

株式会社sustenキャピタル・マネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3201号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会